

発達期脳性運動障害の小脳病変と症候- 2
-早産白質障害-

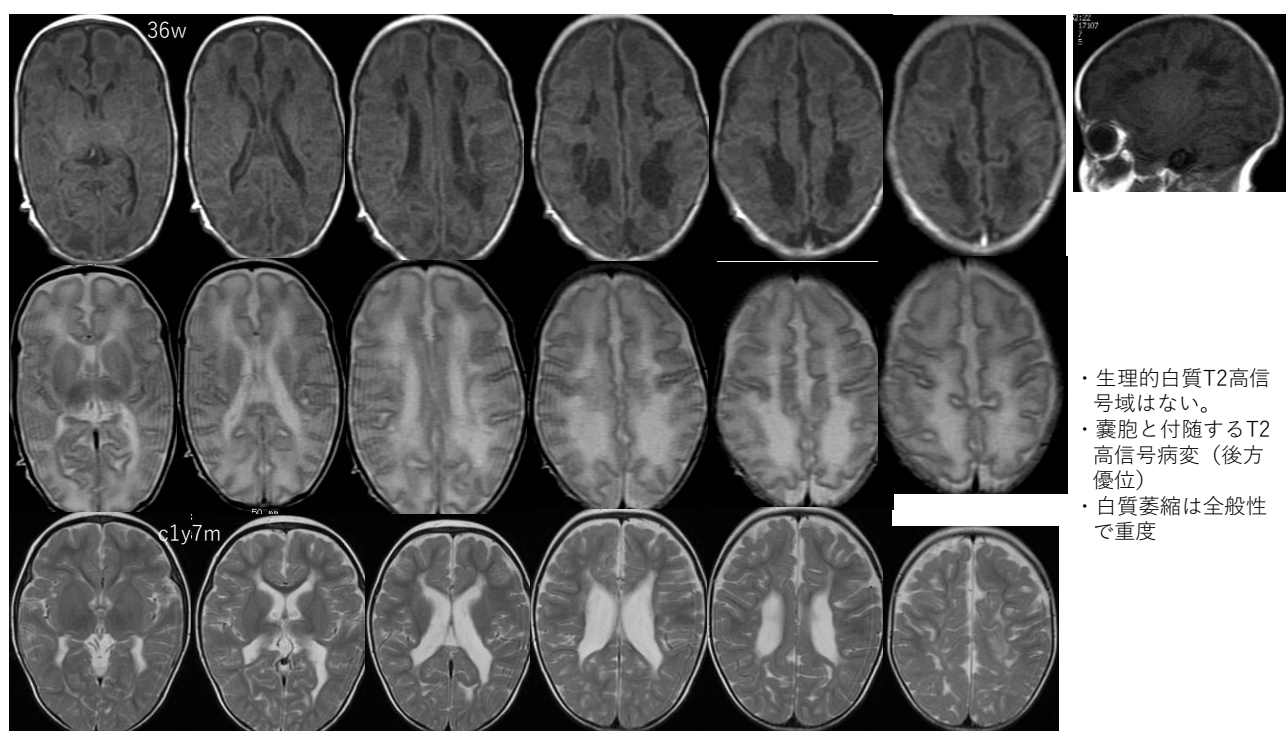
横地健治

1

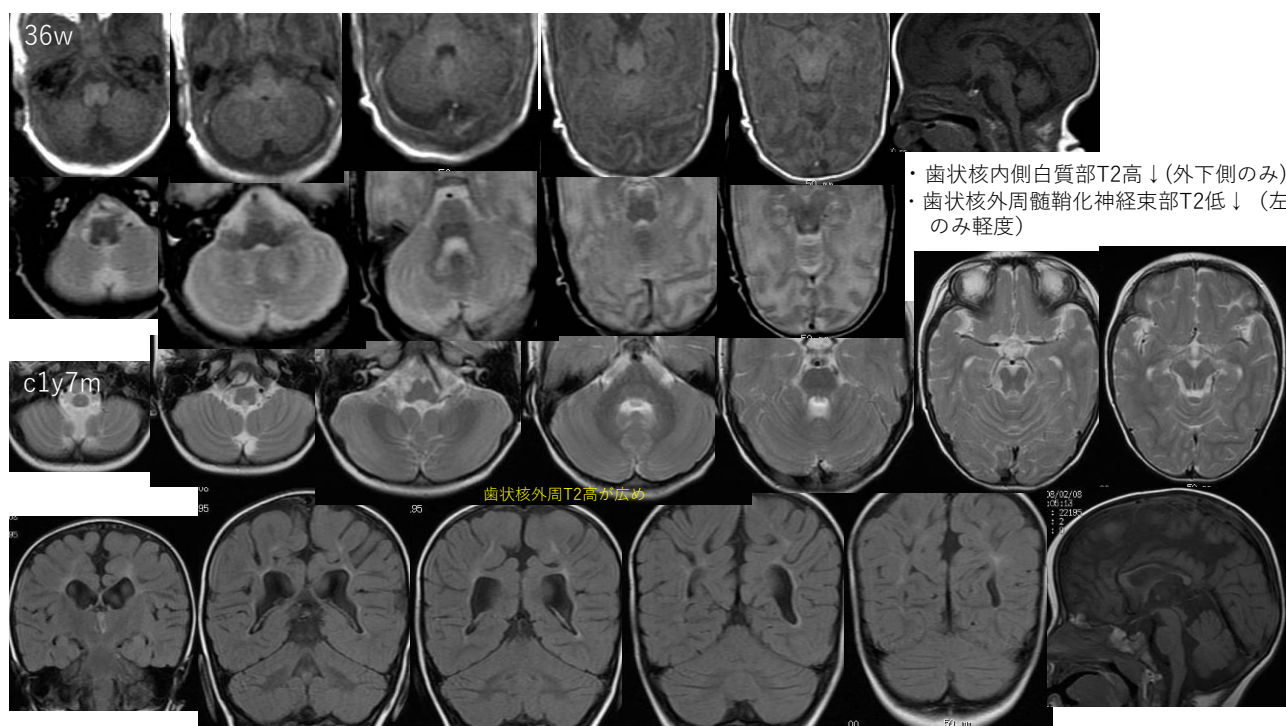
早産白質障害・軽度ID・ 31w ・四つ這い c2y7m、10y以後退行（最高機能：手を引いて歩く、杖歩行少しできる） 11y; 膝歩き ・軽度ID



2



3



4

早産白質障害・横地分類A2

29w

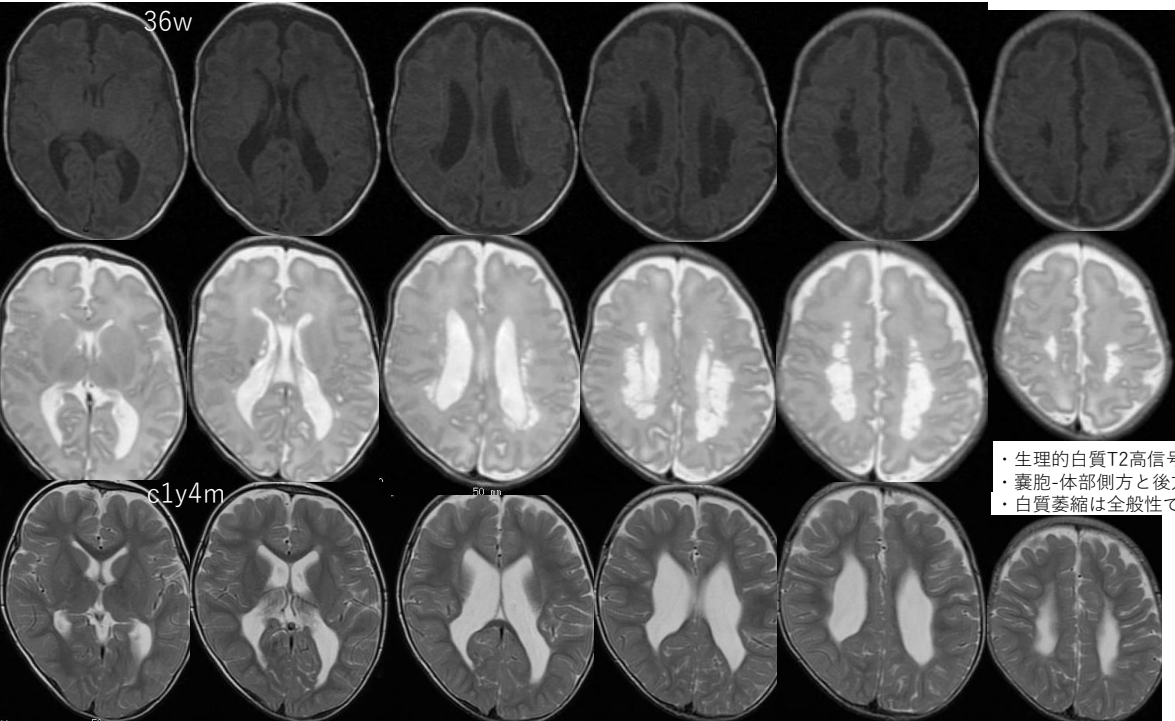
c3y9m

c2m



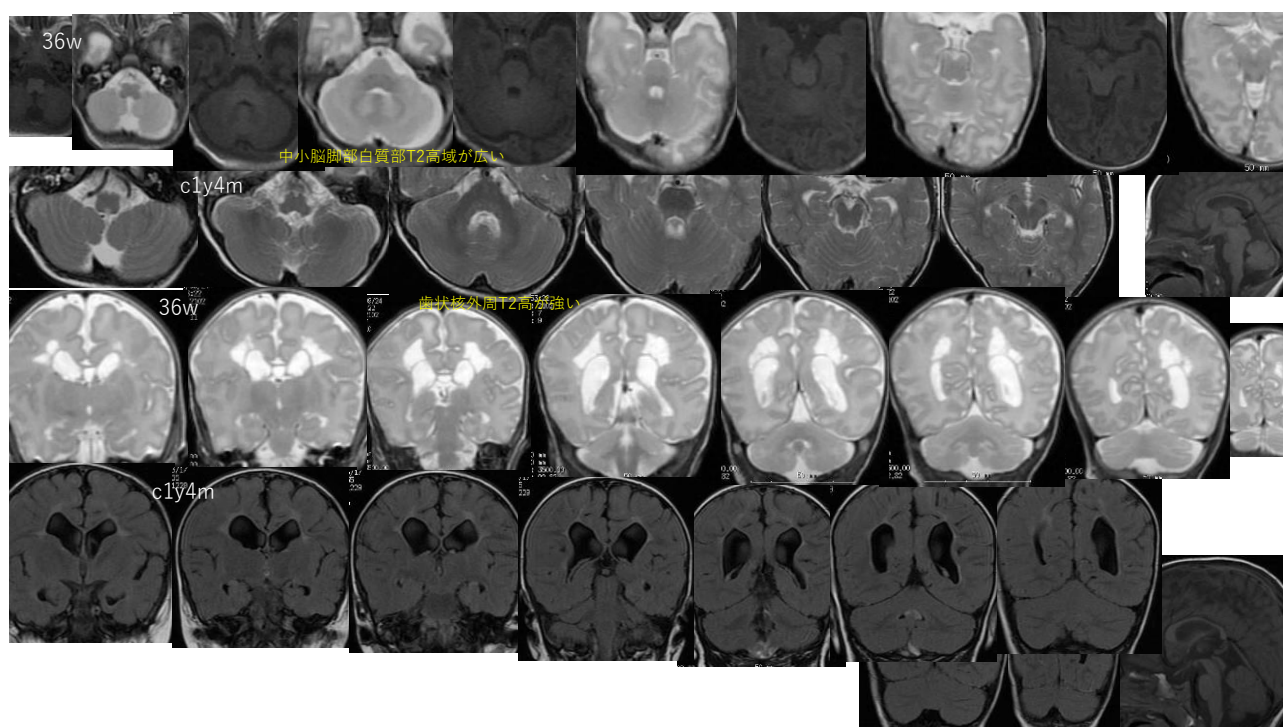
- ・股伸展荷重制限 > 股屈曲過活動 *体幹伸展
- ・分離運動制限
- *下肢伸展: 股伸展荷重制限 > 分離運動制限
- *上肢は伸展常時筋収縮状態が優勢

5



- ・生理的白質T2高信号域はなし
- ・嚢胞-体部側方と後方
- ・白質萎縮は全般的で重度

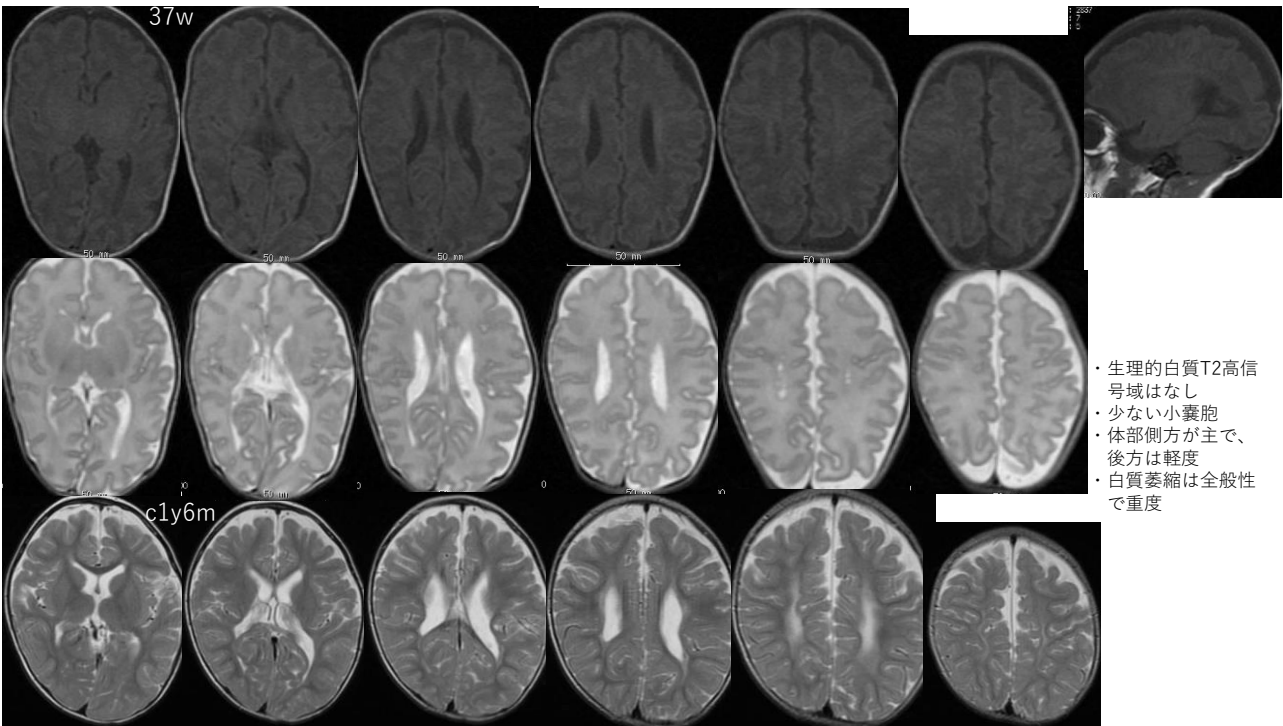
6



7

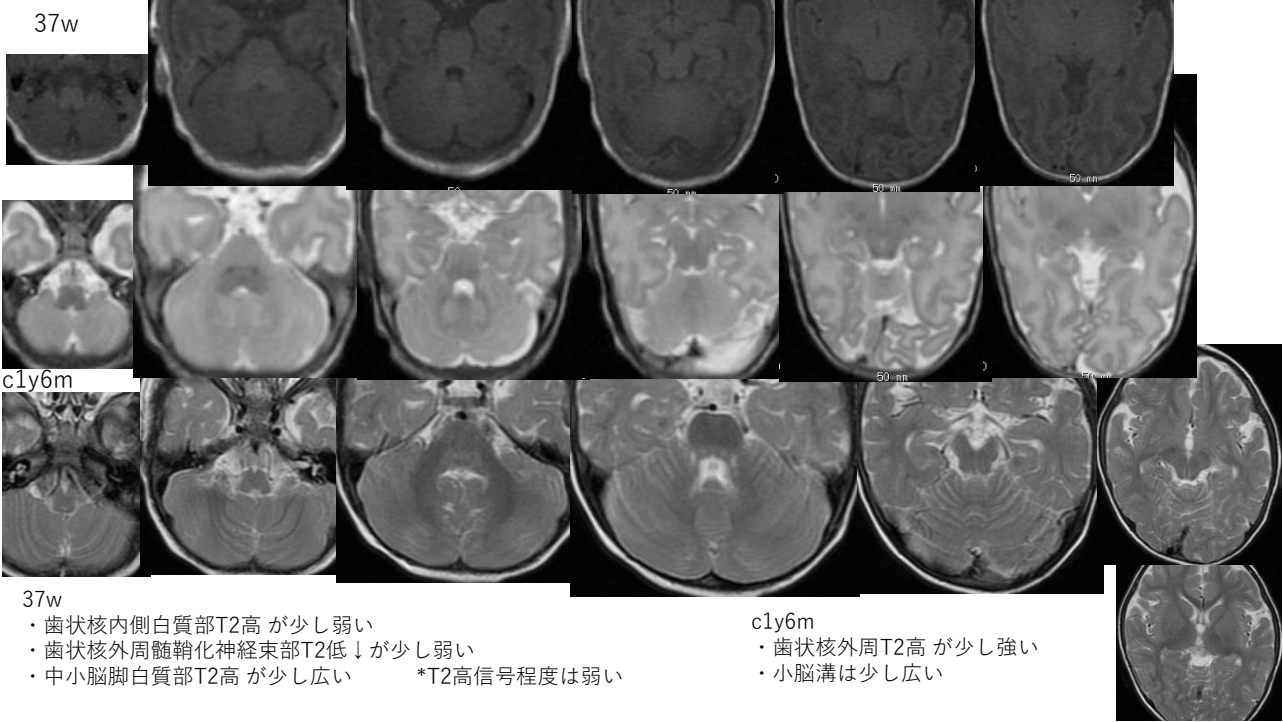


8



- ・生理的白質T2高信号域はなし
- ・少ない小嚢胞
- ・体部側方が主で、後方は軽度
- ・白質萎縮は全般性で重度

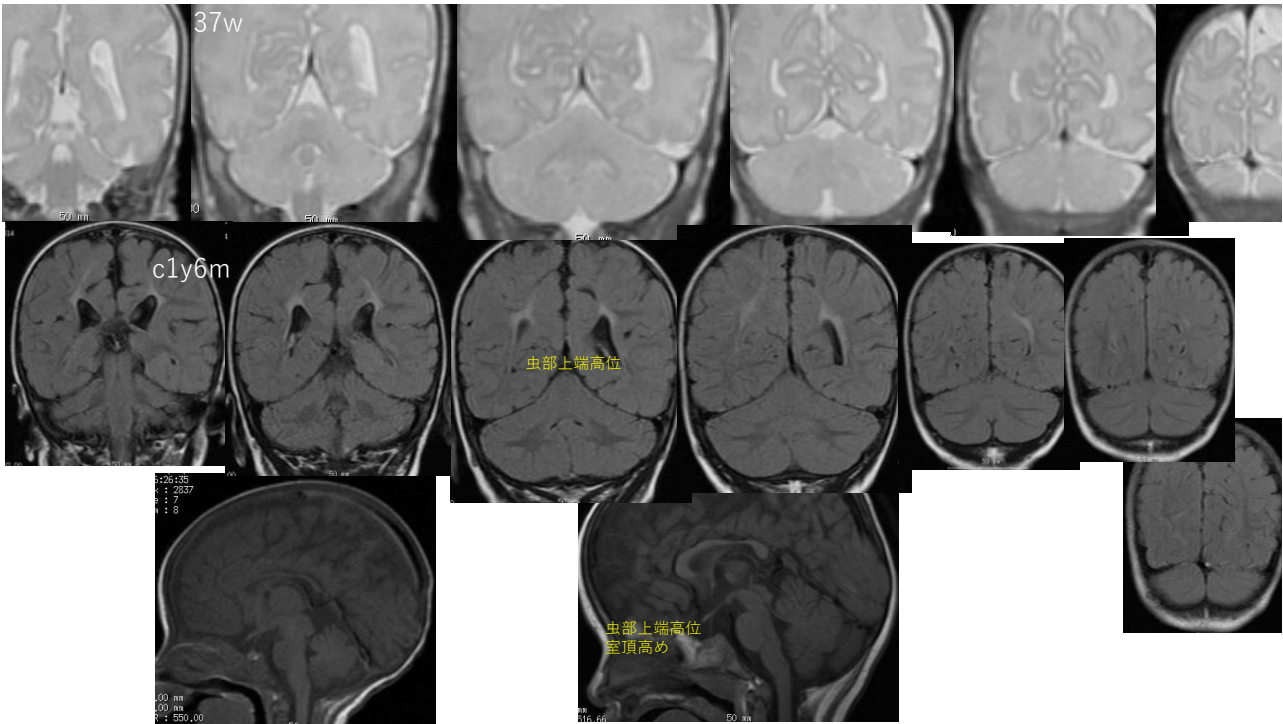
9



- 37w
- ・歯状核内側白質部T2高 が少し弱い
 - ・歯状核外周髄鞘化神経束部T2低↓が少し弱い
 - ・中小脳脚白質部T2高 が少し広い
- *T2高信号程度は弱い

- c1y6m
- ・歯状核外周T2高 が少し強い
 - ・小脳溝は少し広い

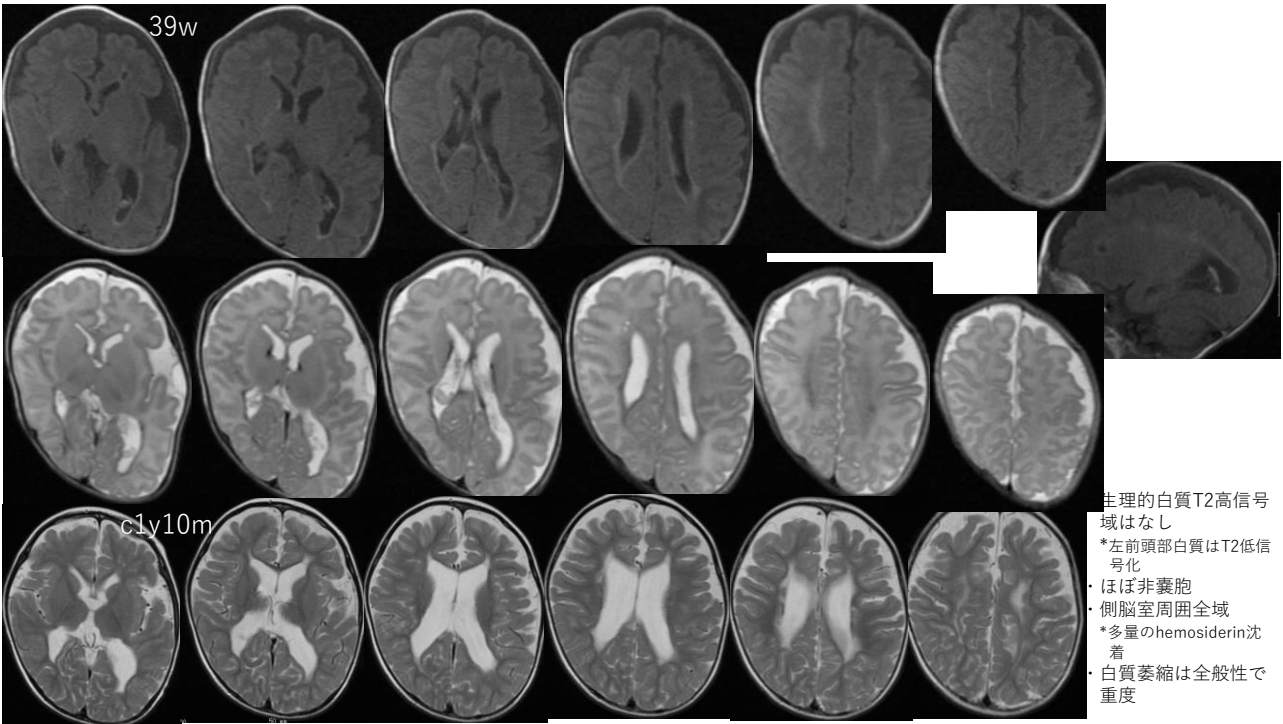
10



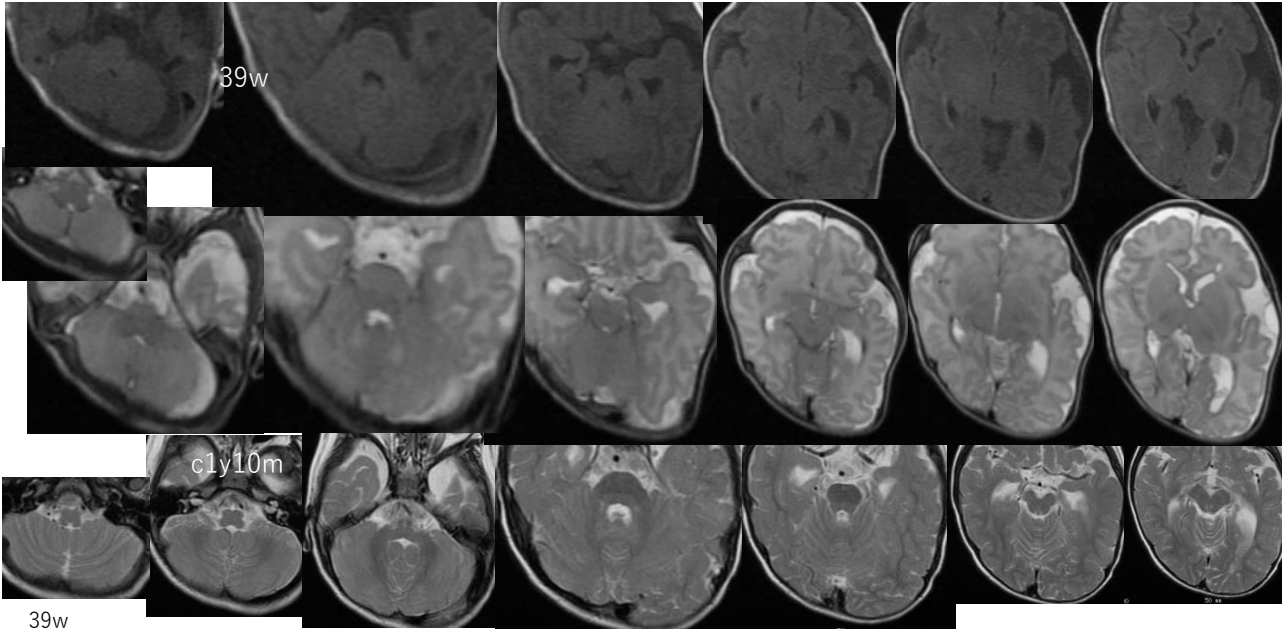
11



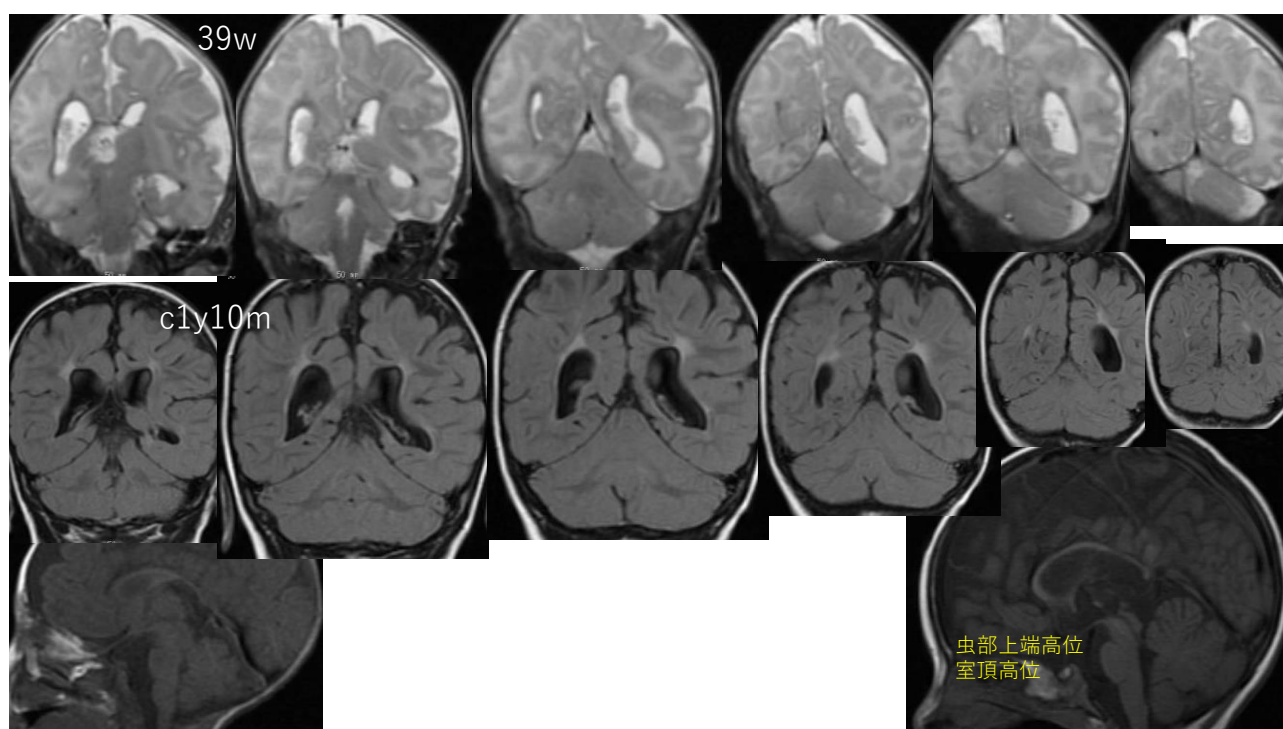
12



13



14



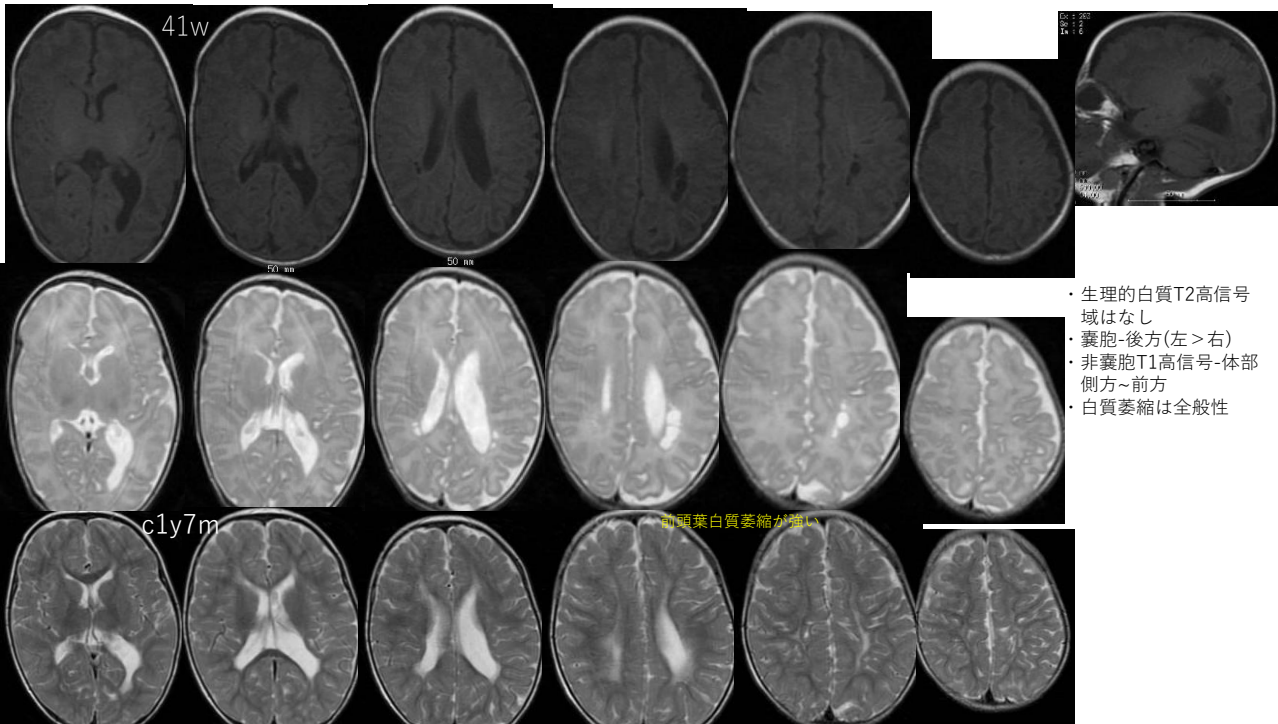
15

早産白質障害・軽度ID

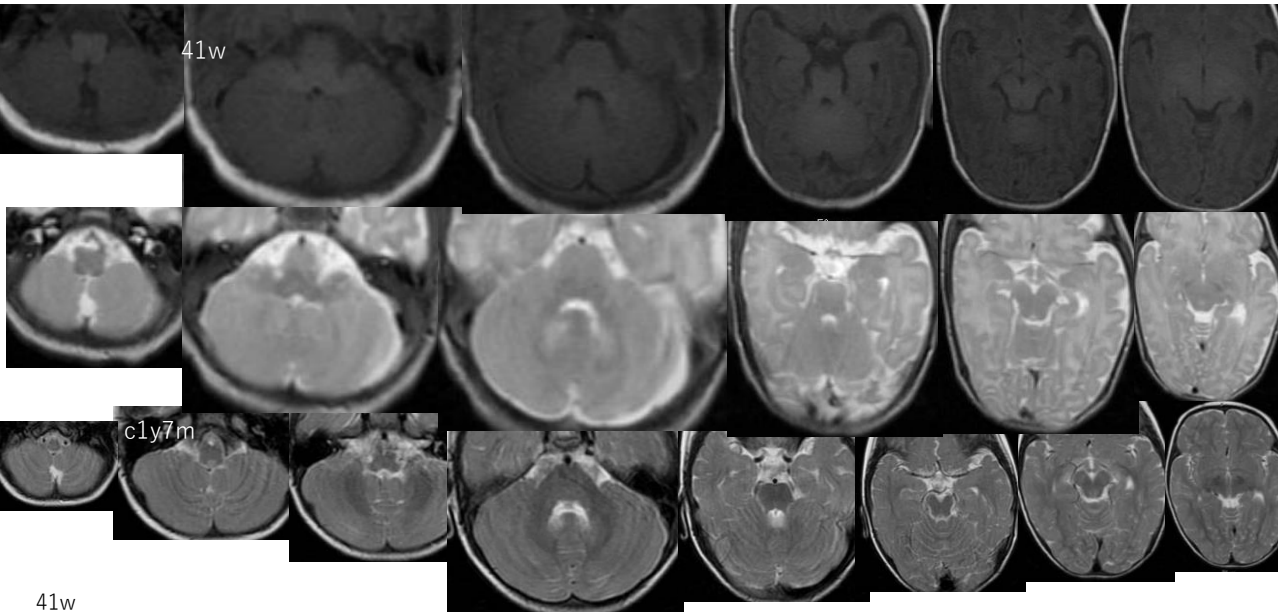
・ 32w ・ 座位 c11m, つたい歩き c1y4m ・ 軽度ID



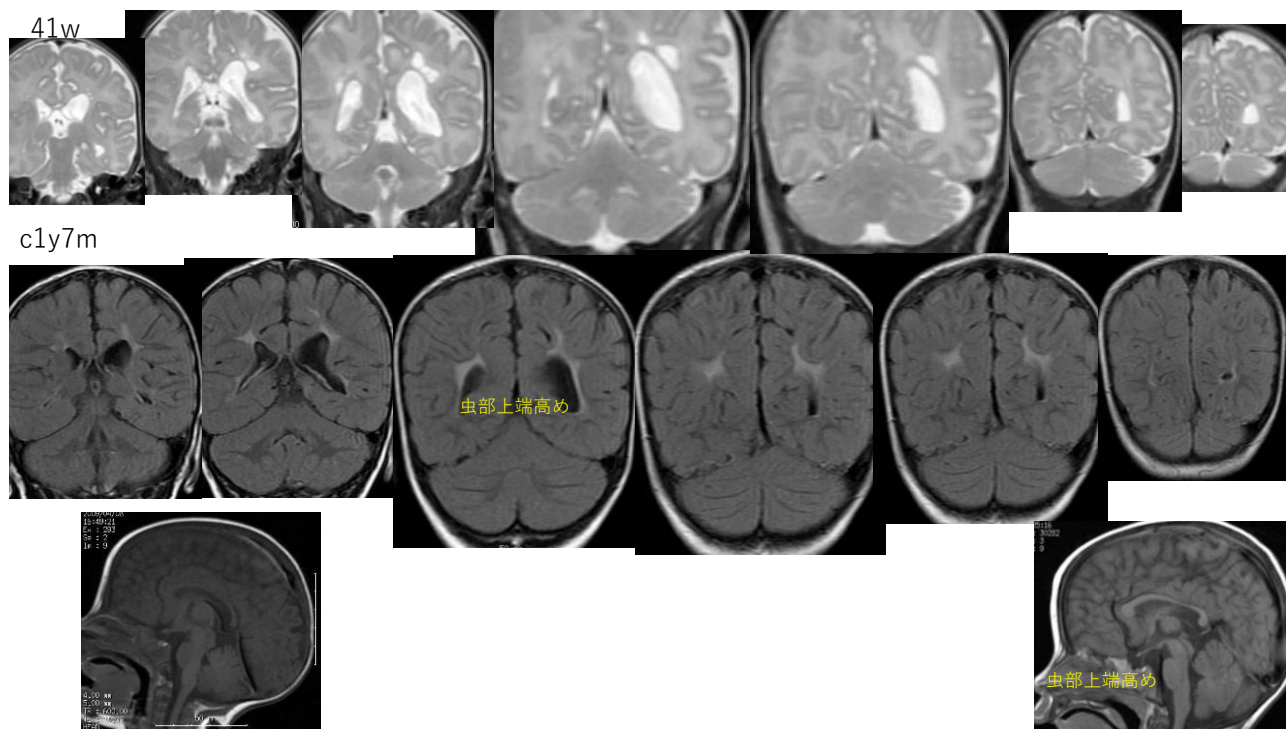
16



17



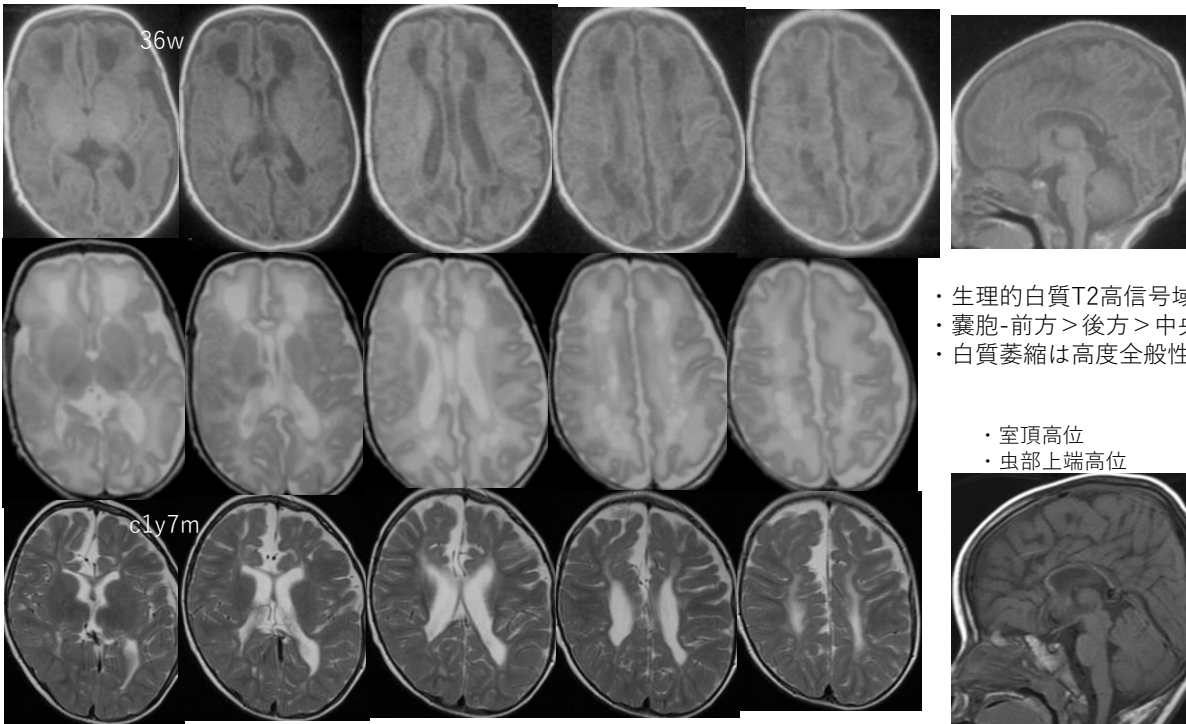
18



19



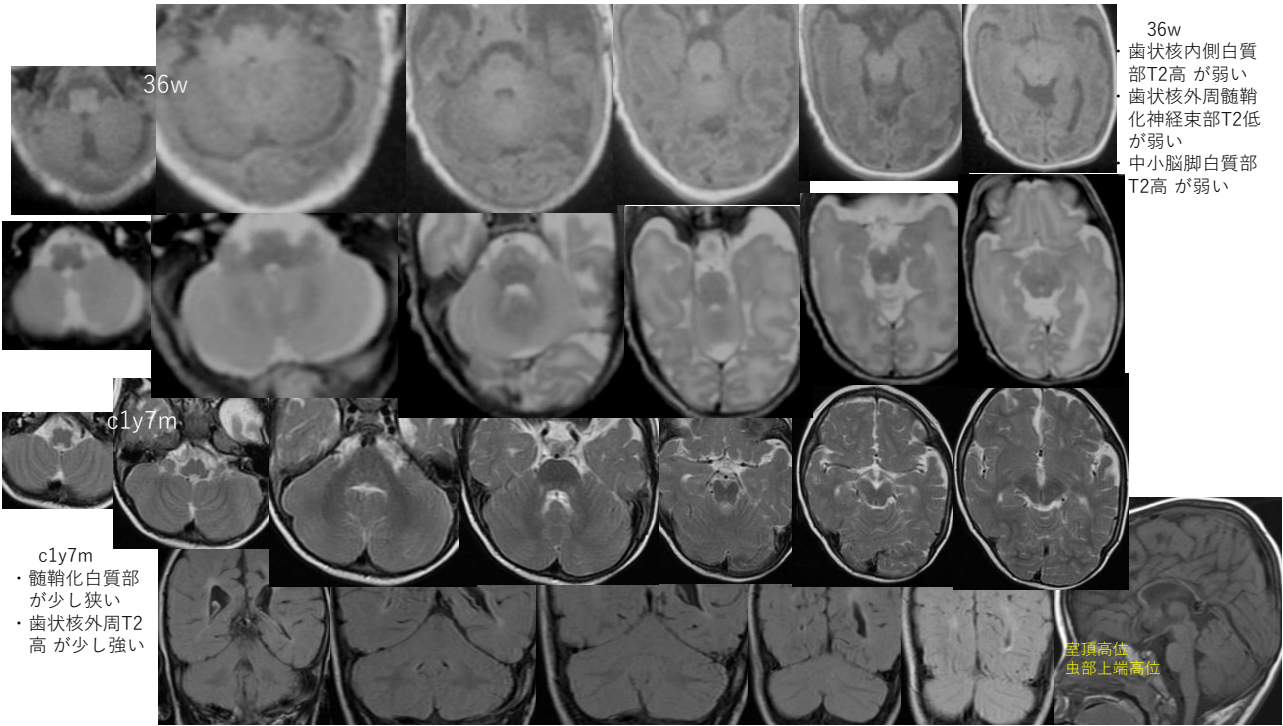
20



- ・生理的白質T2高信号域はなし
- ・嚢胞-前方＞後方＞中央
- ・白質萎縮は高度全般性

- ・室頂高位
- ・虫部上端高位

21



- 36w
- ・歯状核内側白質部T2高が弱い
- ・歯状核外周髄鞘化神経束部T2低が弱い
- ・中小脳脚白質部T2高が弱い

- c1y7m
- ・髄鞘化白質部が少し狭い
- ・歯状核外周T2高が少し強い

- 室頂高位
- 虫部上端高位

22

早産白質障害・横地分類A1

c11w

反りが強い
股屈曲外転位と下腿伸展位の共存
上肢伸展位、肩ぶん回し
共同運動

28w

c2y3m

1wでcystic PVL

c6y9m

舌出し

c4m

上肢W位

舌出し

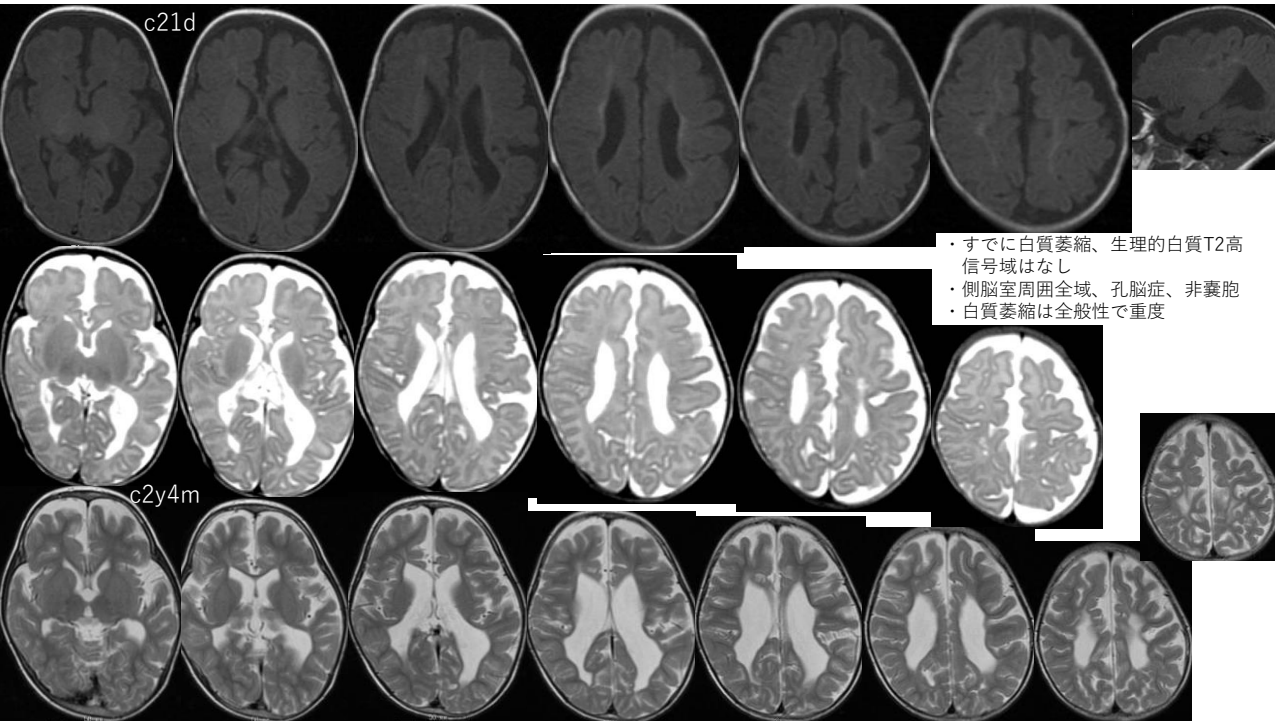
上肢W位

・股伸展荷重制限≠股屈曲過活動 *体幹伸展

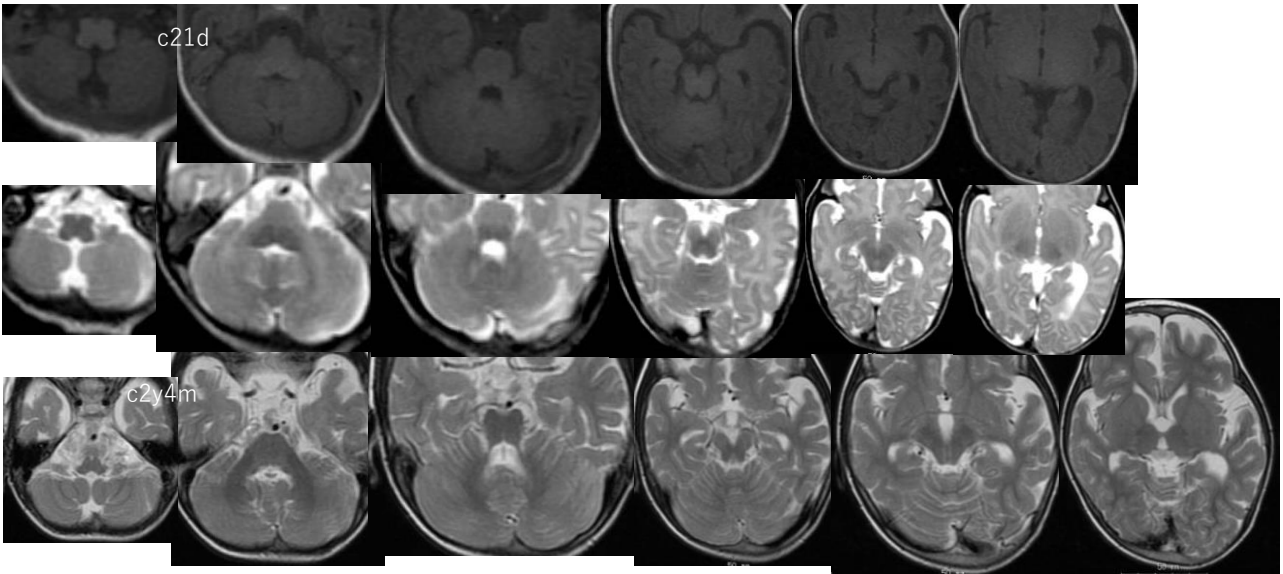
・分離運動制限 *下肢伸展: 股伸展荷重制限>分離運動制限

*肩ぶん回し 上肢屈曲常時筋収縮状態≠上肢伸展常時筋収縮状態
⇒上肢W位

23



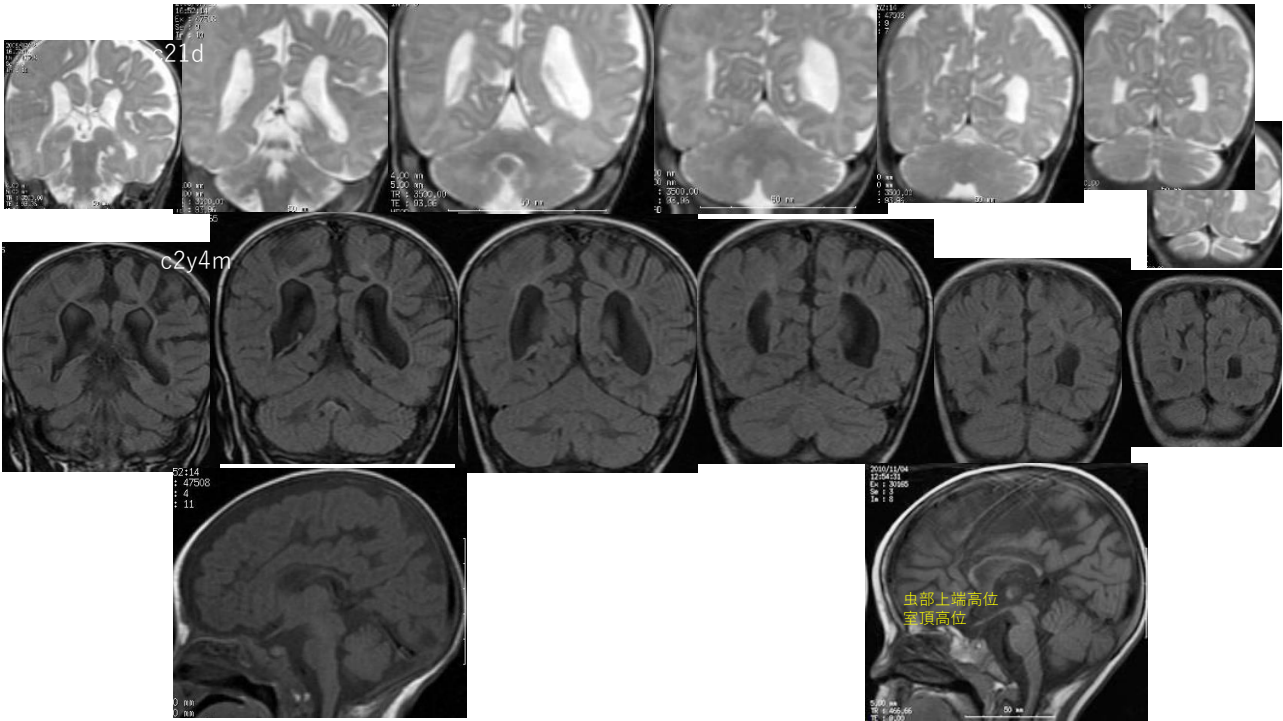
24



- c21d
- ・ 歯状核内側白質部T2高 が弱く、同部が萎縮
 - ・ 歯状核外周髄鞘化神経束部T2低 が弱い
 - ・ 中小脳脚白質部T2高 の部が広い

- c2y4m
- ・ 髄鞘化白質部が少し狭い
 - ・ 歯状核外周T2高 が少し強い
 - ・ 小脳溝は拡大

25



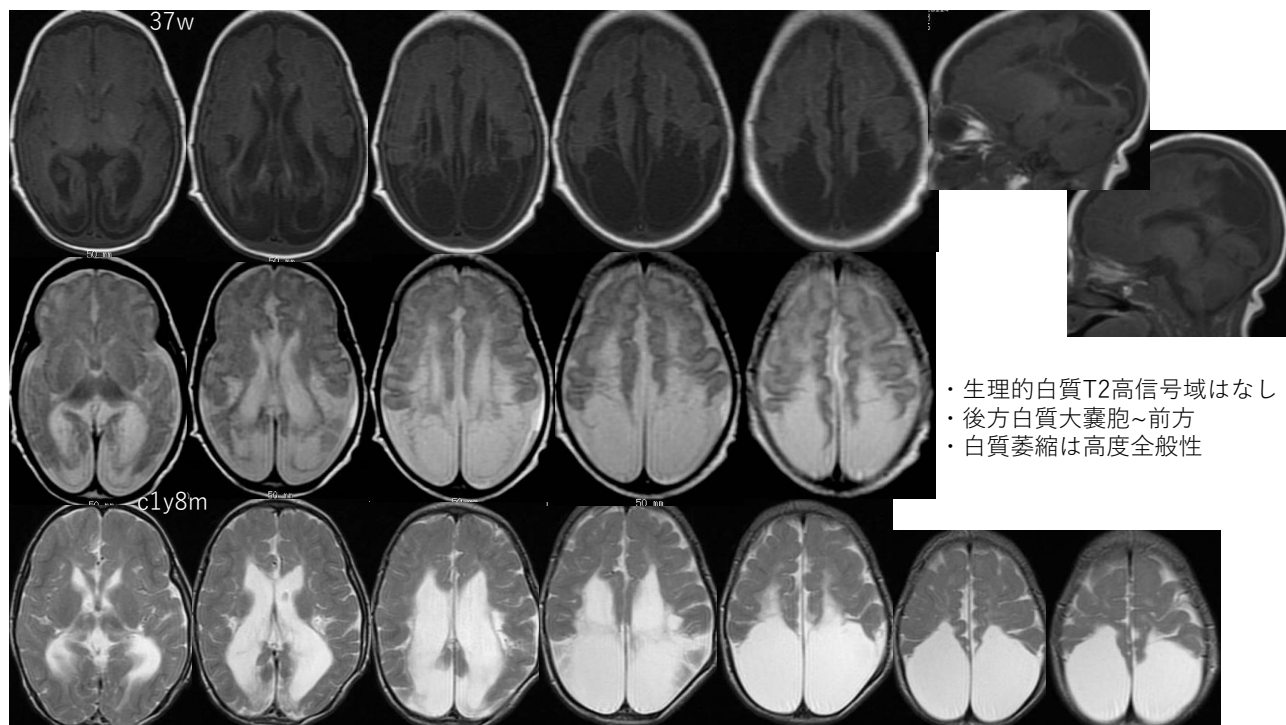
26



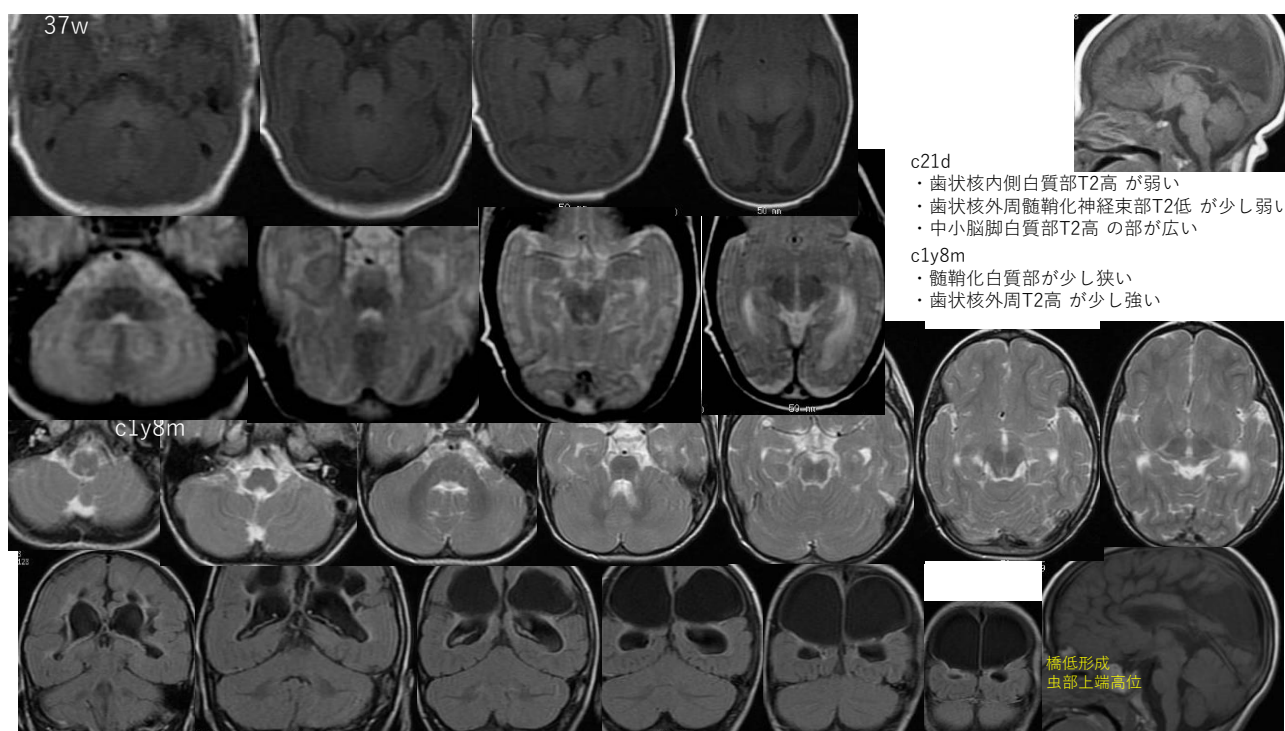
- ・股屈曲過活動≠股伸展荷重制限
- ・分離運動制限

- *下肢伸展: 股伸展荷重制限 > 分離運動制限
- *上肢は屈曲常時筋収縮状態 > 伸展常時筋収縮状態

27



28



29

早産白質障害の小脳病変

満期時MRI所見

歯状核内側白質部（T2強高信号）・ T2高信号の減弱 ・ 同部の萎縮

歯状核外周髄鞘化神経束（T2低信号）・ T2低信号の減弱

中小脳脚白質部（T2弱高信号）・ 広域なT2高信号 ・ T2低信号化



幼児期MRI所見

・ 白質の低容量 ・ 歯状核外周部のT2強高信化 ・ 小脳溝の拡大

・ 虫部上端高位 ・ 室頂高位

➤ 症候との対応は不明確

30